

# くるくる便り



写真：福岡市リサイクルベース福岡

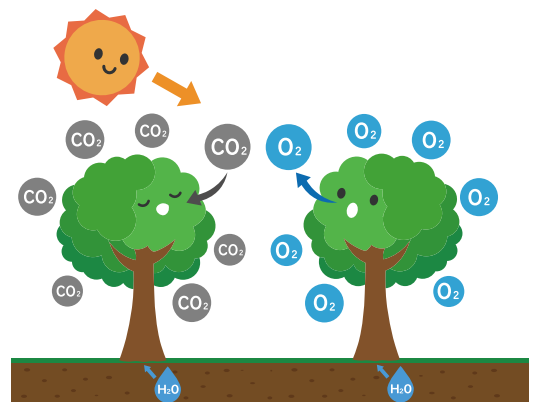
## 古紙のリサイクルについて考えよう

毎日使うティッシュやトイレットペーパー。学校や会社で使うノートやコピー用紙など、ペーパーレス化が進んだ現代においても紙は私たちの暮らしに欠かせないもの。

私たちが普段使う紙は、木材から取り出した木材パルプと、家庭などで一度使われた古紙から作られています。

日本の木材自給率は約3割。使用する木材の7割近くを海外からの輸入に頼っています。使用済みの古紙を再利用することで、新たに使用する木材の量を抑制し、森林資源の保護にもつながります。

日本の古紙リサイクルは、回収率・利用率ともに世界でもトップクラスの水準にある一方で、紙の消費量も海外と比べて多く、これまで以上に古紙のリサイクルに関心を持って取り組んでいく必要があります。



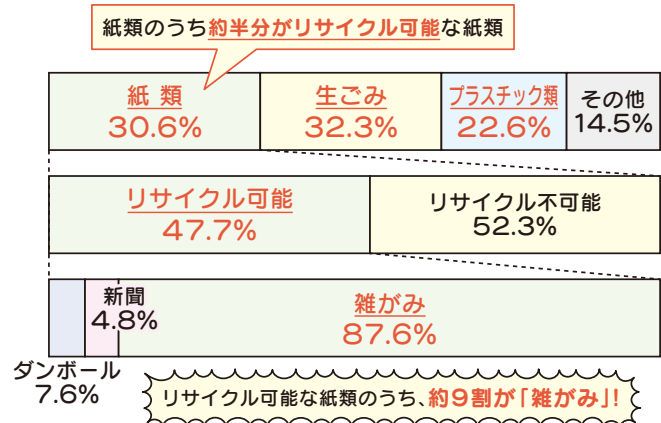
# 「雑がみ」は貴重な紙資源！

きちんと分別して回収されれば、新しい紙製品に生まれ変わることができます。

古くは平安時代から取り組まれてきたといわれる日本の「紙」のリサイクル。溶解してリサイクルするので、エネルギーをあまり必要とせず、プラスチックなどのリサイクルよりも取り組みやすく、とても効率のいいリサイクルです。

段ボールや新聞紙のリサイクル率は年々増加しているため、これからは「雑がみ」のリサイクル率をあげることが必要とされています。

「雑がみ」とは、ティッシュやお菓子の空箱、トイレトーパーやラップの芯など段ボールや新聞紙以外のリサイクル可能な紙類のこと。福岡市の家庭から出る燃えるごみの約13パーセントを占めています。重さにして年間約3.6万トン、原料にすると木材約72万本分がリサイクルされることなく焼却処分されています(令和3年度福岡市家庭系可燃物組成調査)。



## 実際に古紙を分別している

### 「リサイクルベース福岡」の方にお話を聞いてみました。

Q そちらにはどんな古紙が持ち込まれていますか？

A 段ボールをはじめ、雑誌や新聞、シュレッダーくずなどです。

Q 持ち込まれた古紙はきちんと分別して出されていますか？

A 段ボールはきちんと分別されています。

しかし、ビニール袋に入ったままの雑誌やビニールがついたままの窓あき封筒、クリアファイルに入ったままの書類、シュレッダーの紙ごみの中に雑誌や新聞が入っていたり…。

他の古紙については、きちんと分別されていないことが多いです。



Q 分別作業で困ったこと、大変だったことはありますか？

A 雑がみの袋の中に弁当の食べかす、掃除で出たごみなどが入っていることが結構あります。古紙を選別するラインが汚れたり、手作業で分別しているので、時間も手間もかかり大変困ります。

Q 古紙をリサイクルに出すときに特に気を付けてほしいことはありますか？

A 段ボール、新聞、雑がみと種類別にきちんと分別をお願いしたい。ビニールやクリアファイル、禁忌品と呼ばれるものは混入しないようにしてもらいたいです。



# 古紙のリサイクルは「分別」が重要ポイント!

古紙をリサイクルするには品質が一定であることが必要とされ、リサイクルできるものとできないものに「分別」されていることが重要になります。混入してしまったリサイクルできない紙類やプラスチック等の異物は、リサイクル工場に運ばれた後、すべて手作業で取り除かれています。

リサイクルできない紙を認識し、古紙をきちんと「分別」してリサイクルに出しましょう。

## リサイクルできる紙類(雑がみ)

→ 資源回収へ

- パンフレット、カタログ、書籍、ノート
- お菓子等の紙箱、包装紙
- ティッシュの箱(取り出し口のビニールは取り除く)
- はがき、封筒(窓付き封筒のビニールは取り除く)
- 投函されたチラシ、配布されたプリント
- 紙袋
- トイレットペーパー、ラップ等の芯

## リサイクルできない紙類

→ 燃えるごみへ

- 汚れた紙、においのついた紙(化粧品、洗剤や線香の箱等)
- 圧着はがき
- ビニールコーティングされた紙
- カーボン紙、感熱紙、レシート
- 写真
- 冊子についているCD、DVDの袋
- 絵具やクレヨンで描いた画用紙

## まとめ方

### ■大きな雑がみ

雑誌や本、カタログはまとめてヒモでしばる。



### ■小さな雑がみ

はがきやラップの芯などは紙袋にまとめ、口をホッチキスで留めるか、ヒモ掛けを。紙袋の持ち手が紙以外の場合は、切り取ってください。



**Point!** ごみ箱のそばに雑がみ用の紙袋を置いておけば、手軽に分別できます。

## 出し方

### ■お住まいの地域の集団回収や資源物回収拠点へ。

近くの回収拠点は右のコードを読み取るか

問い合わせ：福岡市環境局 循環型社会推進部 ごみ減量推進課  
TEL(092)711-4039 FAX(092)711-4823



# 3R

リデュース=ごみを発生させない  
リユース=繰り返し使う  
リサイクル=再利用する

## でごみを減らそう!

西部3Rステーションでも古紙の回収を実施。

## 年間30トンの古紙を回収しています!



## 使用済みペンの回収を始めました!

福岡市ではプラスチックの資源循環推進のため、使用済みペンなどの文具を回収しリサイクルする取り組みを開始しました。

西部3Rステーションでも回収ボックスを設置し、ご家庭で使い終わったペンなどの文具を回収します。ご協力よろしくお願ひします。





## ご来館の皆さまへ

**お願い** 発熱、咳等の症状がある場合は来館をご遠慮ください。

**お知らせ** 当館は、10月下旬から館内空調工事を実施します。  
工事に伴い、一部サービスの提供や暖房の使用ができない場合があります。  
ご利用の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。  
詳しくはホームページをご覧ください。

## 西部3Rステーションではフードドライブ活動を行っています!

あなたのご家庭に食べきれずに余っている未使用の食品はありませんか?  
西部3Rステーションでは常時「フードドライブ」活動を行っています。ご提供いただいた食品は「特定非営利活動法人フードバンク福岡」を通じて、子ども食堂や福祉施設など食べ物を必要としている方々へ無償で配布されます。ご提供いただく食品は1点から大歓迎。これまで寄付の方法がわからず捨てていた食品を持ち寄り、支援の輪を広げましょう。

ご家庭で  
余っている食品を  
ご提供ください!



**日時** 毎日10:00~16:00※休館日を除く **場所** 西部3Rステーション2階受付  
**対象食品** 未使用・未開封のもので、賞味期限まで1か月以上あるもの。  
缶詰やレトルト食品、乾物、菓子、米、飲料、調味料など常温保存可能なものに限りま。

西部3Rステーションでは、各種体験講座を行なっています。福岡市内にお住まいの方、通勤や通学をされている方なら、どなたでもご参加いただけます。みなさんも身近な3Rを体験してみませんか?

## 体験講座

すべて無料!

内容は変更する場合があります

### 牛乳パックで紙すき

毎日 10:30~15:30  
所要時間30分程度  
申込 随時



### 食品トレイでマグネットインテリア

毎日 10:30~15:30  
所要時間30分程度  
申込 随時



### はぎれ(布・革)で作るストラップ

毎日 10:30~15:30  
所要時間30分程度  
申込 随時



### 身近なもので万華鏡

毎日 10:30~15:30  
所要時間30分程度  
申込 随時



### ハーブ入りリサイクルせっけん作り

水曜日 10:30~11:30  
定員 10名/日(先着順)  
申込 希望日の3日前まで



**体験講座の申込方法** 電話、または西部3Rステーションの2階受付で直接お申込みいただくか、①体験内容②住所③氏名④年齢⑤電話番号を明記のうえ、メール(seibuplaza2@f-kankyo.or.jp)、FAX(092-882-4580)にてお申込みください。

## 生ごみ堆肥相談会

生ごみの堆肥化でお困りの方は何でも相談ください。

■ふくおか環境倶楽部主催  
日時/毎月第2・第4土曜日  
13:00~16:00

場所/2F啓発コーナー  
参加費/無料 事前申込/不要  
※基材・テキスト購入可

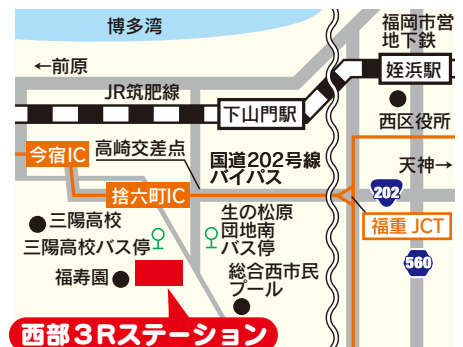


## 福岡市西部3Rステーション

**開館時間** 10:00-17:00  
(衣類の持ち込みは16:00まで)

**休館日** 月曜日  
(休日の場合は開館し、次の平日休館)

**TEL** 092-882-3190 **FAX** 092-882-4580  
〒819-0162 福岡市西区今宿青木1043番地の2



<http://www.fukuoka-seibuplaza.com> 福岡市西部3Rステーション 検索

